

事業シート（概要説明書）

予算事業名	未来のDX人材育成事業			事業開始年度	2022年度
上位施策事業名	-			担当局・部名	地方創生局
根拠法令等	-			担当課・係名	デジタル戦略課
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			作成責任者	榎原
実施の背景	<p>急速に進化するデジタル技術を活用し改革を進めていくにはデジタル人材の育成が不可欠であるが、県の職業能力開発ニーズ調査（2024年度）では、「DXを進めたいが人材が足りない」と回答した事業所が6割近くを占めるなど、DX人材は不足している状況にある。また、IT技術者の5割超は東京圏に集中しており、地方におけるIT技術者が不足しており、地域で活躍する人材の確保が課題である。</p> <p>学習指導要領では、小・中・高等学校を通じたプログラミング教育を体系的に充実させることが規定されている。また、高等学校では、令和4年度から共通必履修科目として「情報Ⅰ」が新設され、プログラミング、ネットワークやデータベースの基本的な知識・技能とともに、探求力や課題発見・解決能力を身に着けることが期待されている。県内では民間のプログラミング教室など学べる場が増えているものの、活動内容や習得できるスキルレベルにはばらつきがあるのが現状である。</p> <p>将来、県内の課題解決に貢献できるDX人材を育成するためには、中高生の時期から、県内の地域課題に触れ、プログラミングスキルで課題解決するより高度で実践的な育成環境を整備することが重要である。</p>				
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の地域課題を発見し、その課題をプログラミングスキルを活かして解決できるDX人材を育成する。 ・社会との接点を増やし、学校教育では教えることができない専門性・実践力の高いプログラミングの内容を学ぶ環境を整備する。 				
向上が図られると考えているウェルビーイング 指標の項目	指標① 総合指標／総合実感（未来）	指標② なないろ指標／生きがい・希望	指標③ つながり指標（職場・学校等）		
対象 (ターゲットとなる県民等の属性)	県内在住の小学生・中学生・高校生			対象者数（全住民に対する割合） 95,077 人 9.6 %	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施（直営） <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先：株式会社チューリップテレビ（公募型プロポーザルで選定）） <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先：実施主体：） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）				
事業概要	事業内容（箇条書き）		事業費	活動指標	
	①小学生プログラミング県大会（11月） ・とやま未来キッズカンファレンス実行委員会に参画		200 千円	・応募作品数 ・全国大会実績	
事業内容 (手段、手法など)	②中高生向けプログラミングスクール ・事業説明会（7/21）の実施 ・プログラミングスクール選抜会（8/3）の開催 ・プログラミングスクール（8月～2月）の開催：全14回 （教室で学習のほか、県内企業バズツアーや、合宿でプレゼン、コミュニケーション技術を学ぶ。受講期間中、県内大学生・社会人等が作品制作メンターとして支援） ・成果発表会の開催 ・未踏ジュニアへの応募支援		9,800 千円	・受講者数 ・受講者満足度 ・未踏ジュニア応募数	

事業シート（概要説明書）

予算事業名		未来のDX人材育成事業										事業開始年度	2022年度				
	関連事業 (同一目的事業等)	データサイエンス連携推進事業 (11,106千円) 教員を対象とした情報教育に関する研修会の開催及び教員向けの教材（「情報×探究」実践事例集等）を作成するための研究会を開催															
		2025 年度（予算）			2024 年度(決算見込)				2023 年度(決算)			2022 年度(決算)					
コスト	事業費合計	10,000	千円	12,299	千円	12,299	千円	8,544	千円								
	事業費内訳 (2024年度分)	負担金200千円（とやま未来キッズカンファレンス実行委員会） 委託費12,099千円（プログラミングスクール受講者1人当たり2万円を参加費として徴収）（株式会社チューーリップテレビ） ・プログラミング体験会：3,421千円 ・プログラミングスクール選抜会：1,496千円 ・プログラミングスクール：5,000千円 ・成果発表会：1,265千円 ・ホームページ製作費、管理費：917千円															
人件費	担当正職員	0.3	人	2,227	千円	0.3	人	2,281	千円	0.3	人	2,122	千円	0.3	人	2,213	千円
	臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
	人件費合計	0.3	人	2,227	千円	0.3	人	2,281	千円	0.3	人	2,122	千円	0.3	人	2,213	千円
	総事業費	12,227		千円	14,580			千円	14,421			千円	10,757		千円		
財源 内訳	国補助金	4,500		千円	6,149			千円	6,149			千円	4,272		千円		
	国補助金の内容		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）														
	地方債	0		千円	0			千円	0			千円	0		千円		
	その他の財源 (使用料、手数料など)	500		千円	100			千円	0			千円	100		千円		
	その他の財源の内容		企業版ふるさと納税														
	一般財源	5,000		千円	6,050			千円	6,150			千円	4,172		千円		
	財源合計	10,000		千円	12,299			千円	12,299			千円	8,544		千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）				単位		2024 年度		2023 年度		2022 年度					
		小学生プログラミング県大会作品応募数				件		134		256		117					
		プログラミング体験会参加者数				人		119		81		36					
		プログラミングスクール受講者数				人		19		19		10					
	単位当たりコスト	総事業費	/	参加人数（体験会 +スクール）		千円		89		123		186					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	・プログラミングスクール受講後のアンケートにて、スクール全体の内容について「とてもよかったです」「よかったです」と回答した人の割合 ・プログラミングスクール受講者の未踏ジュニアへの応募件数															
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）				単位		2024 年度		2023 年度		2022 年度					
		プログラミングスクール受講者満足度				率		19/19		18/19		/					
		未踏ジュニア応募者数（2025年度から測定）				人		-		-		-					

事業シート（概要説明書）

予算事業名	未来のDX人材育成事業	事業開始年度	2022年度
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生プログラミング県大会で優秀賞を受賞し、全国大会に出場した富山県代表の児童2名が2023、2024年に全国大会3位に入賞しており、富山県にてプログラミング力のみならず発想力や表現力を備えた小学生が育成されている。 ・プログラミング体験会の参加者数実績は順調に増えており、中高生がプログラミングに触れる機会の創出につながった。 ・スクールにおいては、地域課題を発見するためのワークショップや企業訪問、作品制作等を通して、多くの受講者から「ターゲットを明確にし、実用の観点で作品制作することで、相手の目線から物事を考えることができた。」「身近な課題について実際にアプリを作成して自信がついた」「企業訪問で、現場のリアルを学び、進路選択にも大きな影響を受けた。」等の感想が寄せられており、学校教育では得られない経験や視点を提供したり、将来にわたって有用なスキルや考え方を習得するきっかけになった。社会課題をプログラミングスキルを活かして解決できるDX人材の育成につながったと言える。 <p>【今後の方向性】</p> <p>体験会の参加人数の推移からプログラミングに触れた経験がある中高生が増えたと判断できるため、2025年度からはさらに高度なスキル獲得を目指す突き抜けたDX人材を育成することを目的に、「未踏ジュニアへの応募及び採択」を最終目標に設定した。引き続きDX人材育成に取り組みたい。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度から「未踏ジュニアへの応募及び採択」を目標とし、資料作成力・プレゼン力向上の内容をカリキュラムに増やしたため、プログラミングの講義・実践の時間が少なくなっている。 ・本事業に参加した学生が将来、富山県と繋がりながら活躍してもらうための工夫が必要である。 		
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> ○山梨県「DX人材育成エコシステム創出事業」（事業費：約40,000千円） <ul style="list-style-type: none"> ・中高生PBLリーダー養成講座 ・中高生のためのデジタル1dayワークショップ ○群馬県「始動人 Jr. 育成事業 2024」（事業費：約8,000千円） <ul style="list-style-type: none"> ・中高生プログラミング体験講座、地域課題を発見するためのフィールドワーク、成果発表会 ・中高生が実現したいことをプレゼンし、企業がサポート、アイディアの具体化について成果発表会を開催 		
特記事項	<p>未踏ジュニア： （一社）未踏が2016年から実施している、独創的なアイデア・卓越した技術を持つ17歳以下の小中高生や高専生などを支援するプログラム</p> <p>経産省所管の独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施する24歳以下の若者を対象とした人材育成プログラム（未踏事業）があり、その未踏事業の修了生を中心に設立・運営されているのが未踏ジュニアである。</p>		

とやま未来キッズカンファレンス2025

～プログラミングで豊かな未来社会を考えよう～

日時 2025年11月8日(土) 午後1時～午後5時

会場 ファボーレホール 富山市婦中町下轡田165-1

参加
無料

プログラミング学習を通して、SDGsの実現に向け豊かな未来社会をみんなで考える「とやま未来キッズカンファレンス2025」を開催します。小学生を対象にプログラミングで社会を豊かにする作品やアイデアを募集して優秀作品を表彰するほか、ロボット、ドローンなどのプログラミング体験を通して、未来社会を体感できる1日。「未来キッズ」を目指すみなさんの参加を待っています!



ロボット、電子工作、ゲーム・・・
プログラミングと先端技術にふれる1日
参加自由。どなたでも気軽に参加できます。



スケジュール(予定)

ステージイベント

- ◇午後1時～ 富山県小学生プログラミング大会2025
- ◇午後3時～ プログラミングデモンストレーション
- ◇午後4時～ プログラミング大会講評・表彰式

体験コーナー

- ◇午後3時～午後4時
ロボット、AI技術、
アニメーション、電子工作
など、様々なプログラミング
体験ができます。



※SDGs(持続可能な開発目標)とは?
どのような取り組みなのか調べてみよう!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主 催／とやま未来キッズカンファレンス実行委員会

構成:富山県、とやま地域ICTクラブ推進協議会、(一社)富山県情報産業協会、北日本新聞社
後 援／文部科学省、経済産業省、総務省北陸総合通信局、デジタル庁、人工知能学会、
富山県教育委員会、富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校

■お問い合わせ先／とやま未来キッズカンファレンス実行委員会事務局 TEL.076-445-3355(北日本新聞社事業局内 平日9時～17時)

富山県小学生
プログラミング大会2025

►エントリー方法は裏面をご覧ください

富山県小学生プログラミング大会2025

日時 2025年11月8日(土) 午後1時～午後5時

会場 ファボーレホール 富山市婦中町下轡田165-1

プログラミングを活用した豊かな未来社会について考えてみましょう。
「あったらいいなこんなもの」「環境問題を考えさせるアニメーション」など、小学生のみなさんの創造力あふれた作品を募集します。

たくさんの
ご応募お待ち
しています!



大会要項

■参加資格 富山県内在住の小学生(個人でもグループでも可)。グループの場合は4名まで。

■募集テーマ 「みんなのみらい」

「富山の魅力を伝える」「暮らしや社会を便利にする」「困った人を助ける」など、「みんなのみらい」を明るく元気で、豊かにする作品やアイデアを募集します。作品部門はアイデアを形にした作品を募集。アイデア部門では絵と文で思いを表現してください。

■部門

A. 作品部門

プログラミングを使ったロボット、アニメーション、ゲーム、システムなどの作品。
プログラミング言語は不問。

B. アイデア部門

プログラミングによって実現されるアイデアのイメージを絵(8つ切り画用紙)と目的や開発への思いなどの文章(400字以内、B4の400字詰原稿用紙を使用)で説明。

■作品評価基準

- 独創性(発想の面白さ)
- 技術(学習の成果をどう反映しているか)
- 努力(工夫・苦労の記述)

■応募方法

A. 作品部門

●9月16日から10月15日までの間に、大会ホームページ(<https://zsjk.jp/>)により、エントリーをお願いします。

●エントリー時に登録いただいたメールアドレスに返信メールが届きます。
そのメールでご案内する送付方法に従って、9月23日から10月15日までの間に①作品を撮影した写真または動画(5分以内)②開発目的、工夫した点、苦労した点などを400字程度にまとめたものを送付ください。

●作品部門の優秀作品は11月8日にファボーレホールで行われる「とやま未来キッズカンファレンス2025」にて、プレゼンテーションしていただきます。

B. アイデア部門

●①作品を記入した8つ切り画用紙
②目的や開発への思いなどをB4原稿用紙1枚以内にまとめたものを下記へ送付ください。

●画用紙の裏に、住所、氏名(ふりがな)、連絡先電話番号、学校名、学年、プログラミング教室名を記入してください。
送付先 〒930-0094 富山市安住町2-14 北日本新聞社事業局内「富山県小学生プログラミング大会」係

※作品送付期間 9月23日(火・祝)～10月15日(水) 必着

●アイデア部門の優秀作品は、11月1日(土)～9日(日)にファボーレ2Fで展示予定です。

■審査

とやま未来キッズカンファレンス実行委員会(実行委員長 山西潤一富山大学名誉教授)をはじめ、富山県立大学、富山高等専門学校などで構成する審査員が審査します。両部門の優秀作品には表彰式にて賞状と副賞を贈呈します。

募集要項の詳細は
大会ホームページを
ご確認ください



作品部門の
最優秀賞受賞者は
全国選抜小学生
プログラミング大会に出場!

期日：2026年3月8日(日)
主催：全国新聞社事業協議会
後援：文部科学省、経済産業省、
総務省、デジタル庁ほか

作品部門エントリースケジュール

エントリー受付
9/16(火)～10/15(水)

大会HPの
応募フォームから
エントリー

作品送付
9/23(火・祝)～10/15(水)

エントリー後に大会HPの作品
送付フォームで作品の画像または
動画(5分以内)をアップロード

書類選考

応募多数の場合、書類選考
の上、最終プレゼンターを
決定します

最終プレゼン
11/8(土)

ファボーレホールで
作品のプレゼンテーション
を行います

共通目的事業・助成事業
SARTRAS



本大会は、「みんなのみらい」をテーマに、一般社団法人
授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)の
共通目的基金の助成を受け実施されています。

[Web] <https://sartras.or.jp/>

[お問合せ先]

とやま未来キッズカンファレンス実行委員会
事務局 Tel.076-445-3355
(北日本新聞社事業局内 平日9時～17時)

R6年度の中高生プログラミングスクールの取組み



社会見学バスツアーで地域課題に触れる



学生・社会人のメンターが作品制作を支援



成果発表会の様子

受講生が制作した主な作品

➤ SDGsを推進！食品ロス削減と食育支援のアプリ 「Smile Plates（スマイルプレーツ）」

⇒廃棄または規格外の野菜を、必要としている子ども食堂や児童施設に寄付できるアプリ

➤ Seat Switcher

⇒多忙な教員の方々の負担を減らすため、配席図に名前を入力するとランダムな配席図を出力してくれるウェブサイト

➤ Dias ~病気診断ゲーム~

⇒身近な症状について答えると、どのような病気の可能性があるのか分かるゲーム

Set up NEXT!
PROJECT

#独創的なアイディアを磨く

プログラミング技術で 目指せ次世代 イノベーター！

#記憶に残る体験ができる

プログラミングスクール

#卓越した技術を習得する



とやま発 未来のDX人材育成プロジェクト参加者募集

プログラミングスクール

参加者
募集

発見する・創る・伝える——未来を切り拓く3ステップ

DX人材・将来に必要なスキルを磨く半年間！

培った
スキルを
さらに深化
させよう！



応募してさらに
深化を目指せ！

未踏ジュニア

未踏ジュニアとは？

独創的なアイデア、卓越した技術を持つ17歳以下の小中高生や高専生などを支援するプログラムです。

未踏事業という、経産省所管の独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施する24歳以下の若者を対象とした人材育成プログラムがあり、その未踏事業の修了生を中心に設立・運営されているのが未踏ジュニアです。

<https://jr.mitou.org/about>

プログラムの詳細は裏面をチェック！

【主催】富山県 【事務局】Set up NEXT!PROJECT運営委員会
お問い合わせ先 | 運営事務局(チューリップテレビ内) TEL:090-6275-0360(平日9:30~18:00 土日祝日除く)

▲富山県

プログラミングスクール カリキュラム

課題発見



富山県の社会課題をテーマに課題の見つけ方を学びます。 話題のデータサイエンスの講義も！

プログラミング（作品制作）



課題解決のための
プログラミング
作品を制作！

課題解決アイディアに
あわせて
4つのコースをご用意

- 生成AIコース
- ゲーム開発コース
- Webアプリケーションコース
- Windows アプリケーションコース

プレゼン力



発見した課題に対して、見出した解決アイディアを人に伝える技術を学びます。
人を巻き込むチカラを身につけよう！

受講期間 2025年8月～2026年2月

スケジュール

8月8日(金)に初回授業開催。

以降のスケジュールはプロジェクト専用サイトをご確認ください。

対象者

富山県内在住の中学生・高校生

定員

20名 **参加費** 2万円(税込)

スクール参加

スクールではノートパソコンを利用してプログラミングを行います。

スクール参加者は各自ノートパソコンをご用意してご参加ください。

※要件を満たすスペックについては参加者決定後、ご案内いたします。



詳細はこちら



まずは説明会に参加してみよう！

事業説明会

オンラインでも参加できます

日 時 2025年7月21日 月・祝 10:30～

参加
無料

会 場 TASU (高岡まちなかスタートアップ施設)

富山県高岡市御旅屋町101番地 御旅屋セリオ4階



参加申込はこちら！

プログラミングスクール 選抜会！

8/3 日 14:00～16:00

今年度のスクールに参加する生徒 20名 程度を選抜します！
受講を希望する方は、選抜会へご参加ください。

会 場

TASU

(高岡まちなかスタートアップ施設)

富山県高岡市御旅屋町101番地 御旅屋セリオ4階

選抜内容

- ①グループ毎に身近なテーマから課題を発見し、解決方法を探すワークショップ
- ②プログラミングの興味・経験に関するアンケート

選考基準

現在のプログラミングスキルだけではなく、課題発見から解決までの考え方などをスクール講師陣が総合的に判断します。

申込方法

プロジェクト専用サイトから必要事項をご記入の上、
お申込みください。

申込締切

2025年7月31日木

スクール詳細・
申し込みはこちら



令和7年度プログラミングスクール カリキュラム

	開催日	会場	授業タイトル	内容	講師
第1回	8月8日(金)10時半～12時	TASU (高岡市)	プロローグ	半年間のカリキュラムについての説明を行います。	○
第2回	8月19日(火)10時半～12時	TASU (高岡市)	社会にインパクトを与える社会課題の捉え方	社会にインパクトを与える社会課題の捉え方、見つけ方のヒントをお伝えします。	島田 勝彰さん (株) レリック社
第3回	8月22日(金)9時半～15時半	集合／解散 富山駅	社会の現場を知る～バスツアー～	企業見学を実施。庄東ノーサンのスプラウト栽培場見学、介護老人保健施設みどり苑の2か所を見学。データサイエンス講座も実施予定！	(有)庄東ノーサン みどり苑 羽生田 文登さん
第4回	9月7日(日)	TASU (高岡市)	課題設定・解決アイディアを考える	今回のスクールで取り組む課題を設定し、DXを前提とした解決アイディアを作ります。	島田 勝彰さん
第5回	9月21日 (月)	TASU (高岡市)	プログラミング作品の方向性、コース決定	プログラミング作品を制作します。 課題、解決アイディアにそって、コースを選択。作品制作はモデリングX、株式会社エクシーズの2社に分かれて実施します。	(株) モデリングX (株) エクシーズ
第6～11回	10月4日(土)、18日(土) 11月1日(土)、15日(土) 29日(土) 12月13日(土)	モデリングX (富山市) エクシーズ (富山市)	プログラミング作品の制作	モデリングXで作品制作するチームは13時～17時、エクシーズで作品制作するチームは10時～17時（途中休憩あり）の時間で、プログラミングを行います。	(株) モデリングX (株) エクシーズ
第12回	12月20日(土)	TASU (高岡市)	人に伝えるプレゼンテーション	アイディアを人に伝える技術を学びます。	(株) アジアンブリッジ
第13、14回	12月25日(木)、26日(金)	大山研修センター (富山市大山町)	合宿で極めるプレゼン、コミュニケーション技術	スクールメンバーと1泊2日の合宿を行います。仲間とのコミュニケーションやプレゼン技術を学び、課題からアイディアをプレゼンテーションを作成します。	(株) アジアンブリッジ
第15回	1月下旬 (予定)	ファボーレ (富山市)	成果発表会	今回のスクールの成果発表を実施。	○
第16回	2月	TASU (高岡市)	未踏ジュニアに応募しよう	未踏ジュニアの応募へ向けて提出資料の準備をします。	(株) アジアンブリッジ

※スケジュールは変更になる場合がございます。